

## 令和2年度 ひまわりパーク上牟田 事業報告

### 【 事業概要 】

平成25年4月の事業所開設後、常に利用者の方々が安心して社会参加できるように様々な活動を行うことを念頭に、地域との連携という点において力を注いでいます。地域定期清掃をはじめ、災害時の防犯に対する情報の共有も行っています。福祉施設として総合的な各種相談事業としての役割機能についても理解の促進に努めています。

実際の運営については就労継続支援事業A型、就労継続支援事業B型、生活介護事業と日中一時支援事業を適正に継続的な運営の実施を行いました。

利用者支援については、自己存在意識が高まるようにご本人の自主性を尊重した支援を行います。また、様々なスキルの獲得や経験を通して、更なる社会参加や自己実現に結び付く支援を心掛けています。

具体的な事業内容は次の通りです。

### 1 利用者状況

令和3年3月31日現在

項 目	内 容		
平均年齢	50.06 歳（26 歳～71 歳）		
職員数	9 名、1 名（介助員）		
利用者居住区別	東区 4 名、博多区 10 名、中央区 2 名、南区 5 名、城南区 2 名、早良区 6 名、西区 5 名、市外 1 名 計 35 名		
事業別利用者数・定員	利用者（定員）	男 性	女 性
就労継続支援事業A型	15（14）	9	6
就労継続支援事業B型	14（20）	9	5
生活介護	6（6）	5	1
合 計	35（40）	23	12

### 2 年間開所日数及び延べ利用者数（一日平均利用者数）

就労継続支援事業A型	360日	3,726人（10.4人）
就労継続支援事業B型	261日	3,382人（13.0人）
生活介護	261日	784人（3.0人）

### 3 事業別活動状況

#### （1）就労継続支援事業A型

- ・1名の退所者と、事業部より2名の異動者があり、15名との雇用契約締結にてスタートしました。
- ・福岡市内の企業や公的機関等からの受託清掃作業を継続して行うことがで

きました。新たに水上公園の清掃作業を加え実施しました。(愛宕浜・百道浜海浜公園、博多区の公園、水上公園、並びに天神中央公園の清掃)

- ・博多区の公園清掃は契約継続できましたが、入札システムへの移行がありました。他の各所に関しても入札システムへの移行を感じています。
- ・6時間勤務より4時間勤務へと変更してより適正なる運営に努めました。

## (2) 就労継続支援事業B型

- ・18名でスタートしました。高齢化等に伴い生活介護事業へ移行された方等もあり、最終的には14名になりました。やはり利用者獲得が課題です。
- ・作業は博多区を中心とした企業の受注作業を中心に行っています。ホテルのカードキーケース作り・結婚式用ナフキンの埃取り・インターネット販売の箱詰め作業の3本を中心に取り組んできましたが、コロナウィルスの影響を受け、受託が激減した作業もありました。

その他、西部ガスや育成会便りの封入封緘作業、施設外受託清掃作業を行っています。自主製品のポテチ製造に関しては受注販売を行い、地域では敬老会等のイベント時に購入して頂いています。

### 就労継続B型事業平均工賃(月額)

平均工賃月額	作業内容
R2年度 10,190円	カードキーケースとバゲージタグ作り・ナフキンの埃取り・箱詰め・西部ガスや育成会便りの封入封緘作業・ポテチ製造・施設外受託清掃作業
R元年度 12,925円	
H30年度 13,422円	

## (3) 生活介護事業

- ・2名のスタートでしたが、事業移行された方や特別支援学校からの新規契約などを含めようやく定員の6名に達しました。毎日の利用が難しい方もいます。利用率の向上を目指し、安定した事業運営に努めたいと思います。
- ・活動内容の幅の拡がりとして、ドライブや買い物体験等、外出の企画を定期的に行うようにしました。社会参加への促進ということで受託作業や納品活動なども行いました。それに伴い年3回の生活介護事業工賃を新たに創出しました。とても良い刺激・影響となっています。
- ・健康面を含め、支援量の多い方が中心となります。今後も各関係機関との連携や情報共有等、丁寧に行いより良い支援の向上を目指します。

## 4 余暇支援

### (1) お楽しみ会

- ・毎月1回全利用者対象で実施しています。軽運動や調理、創作活動など市障がい者スポーツセンターや区障がい者フレンドより講師を招いて実施するものを中心としていましたが、来ていただくことが難しかったです。

- ・季節に応じた活動を中心にニーズを伺い書道や短冊に始まりリースやチョコ作りなど多種多様バラエティ豊かに企画実施しました。

(2) 休日余暇活動

- ・休日の余暇充実化を目的として希望者に対して年間 21 回、延べ 166 人の参加がありました。
- ・昨今の事情により、外出の機会は控え、事業所内で行うことのできる活動について、希望やニーズを尊重した内容で実施しました。楽しみがこれからの生活に繋がるよう、調理などは手順書の配布等も行いました。

(2) イベントや招待行事等

- ・地域との共催で「秋祭り i n 博多」や国際線空港での「作品展」の予定がありましたが中止となりました。
- ・他、各種観戦などの招待行事については時期を鑑み、その都度促しを行い参加しました。

## 5 健康管理と防火管理等

(1) 定期内科検診

- ・協力医（ながら医院）に往診を依頼して年 2 回実施しました。また、希望者には実費にてインフルエンザの予防接種も実施しました。

(2) 看護師による健康診断

- ・毎月 1 回実施しました。血圧や脈拍、体重、腹囲等の測定結果はグラフ化で分かりやすく各家庭に報告しています。

(3) 結核予防

- ・博多区の保健所にて胸部レントゲンを全員実施しました。

(4) よかドック、健康診断

- ・協力医のもと、希望者へ予防医療に努める取り組みとして行いました。参加率の向上を図っていきたいと思います。

(5) 避難訓練、防災訓練

- ・年 2 回実施しました。火災避難訓練に加え、地震や水害時の避難訓練も取り入れています。また、災害時対策とした事業継続計画（BCP）を策定しました。今後も防災訓練の継続や定期的な設備や建物の点検等、安全に努めた対策を講じていきます。

## 6 その他の取り組み

(1) 旅行・日帰り旅行

- ・日頃の労を労うことや社会マナーの確認を目的として、9 月にバスハイクを予定していましたが、中止としました。

(2) 利用者代表会（本人活動）

- ・育成会本人部会の会員が上牟田にも所属されています。事業所として可能な限りサポートを行っています。

### (3) 保護者会との連携

- ・総会やブロック会議等で保護者と話す機会を設けていますが全体実施が難しい年でした。事業所の取り組みや方針に関して、その都度、文書配布や各家庭への電話連絡でご理解を得るようにさせて頂きました。
- ・交流としての茶話会は役員の方々の来訪によるプレゼント配布という縮小形式で実施致しました。

### (4) 職員研修

各種研修に関しては、主としてパソコンを用いたリモートにて参加しました。

#### ①法人内研修

法人で取り組んでいる各種委員会をはじめ、虐待防止委員会による自己チェックアンケート等を継続して行っています。

②施設外研修としては県や市社協の行う研修や博多区内の研修に参加し、職員の資質向上とネットワークづくりに取り組みました。

③外部講師依頼研修については出来ませんでしたので、職員による利用者の支援向上に関することや安全管理に関する自主研修を実施しました。

### (5) 利用者送迎

- ・西・南・博多の3コースで15名の送迎を実施しました。現状、生活介護事業以外の事業の方でも送迎を希望する方が増えています。

## 7 地域との交流

- ・地域の総会や当事業所で実施する地域懇談会の際に自治会や民生委員の方々に利用者の現状や事業について説明を行っています。通勤時の見守りをはじめ事業所への理解の深まりを感じています。町内行事への参加は利用者の方々と一緒に参加するようにしています。
- ・施設見学や実習に関して態勢を整えて積極的に行いましたが、実習は6名でした。将来を担うべく、障がい福祉などの理解、啓発に努めました。

## 8 苦情受付状況

- ・通勤途中にて女性への声掛けがありました。接触はなく、スマホで閲覧しているもの等について興味での声掛けでした。全体として公共交通機関の利用や、社会的マナーなどについて説明する良い機会と捉えていきます。
- ・保護者等のご意見やご相談にはその都度話を設けるなど行いました。また、保護者に限らず地域ともいつでも話ができる環境設定や情報交換に努めました。

## 9 地域における公益的な取り組み

- ・ライフレスキュー事業に参加しています。当事業所の実績はありませんでした。区実績報告会議での内容についてはその都度職員へ伝えています。